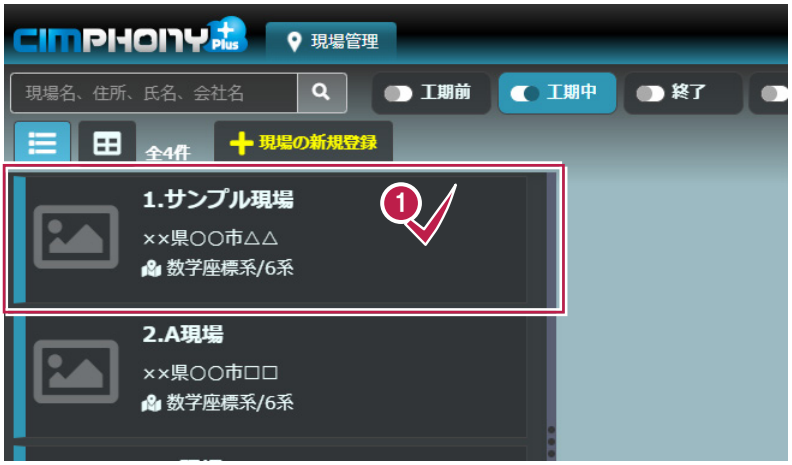
8 作成者－ファイル管理

「作成者」権限を持つ方が、［ファイル管理］タブで使用可能な機能について説明します。

ファイル管理を開く

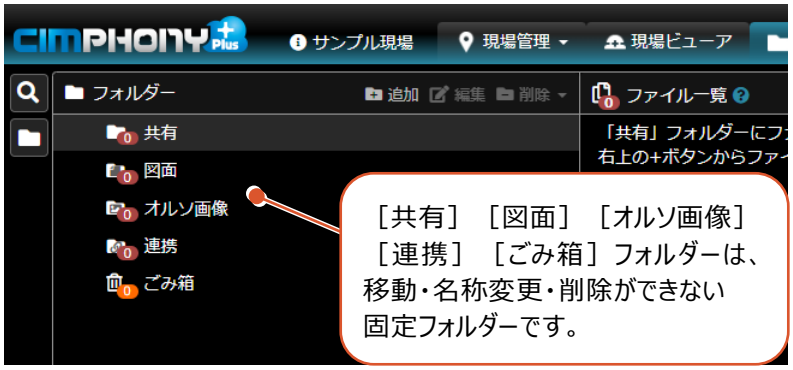
アップロードしたファイルを管理している画面を開きます。

❶ 該当の現場をクリックします。



❷［現場に入る］をクリックします。

❸［ファイル管理］タブをクリックします。
ファイル管理画面が開きます。



3D　3D 専用フォルダーについて

［設計］［点群］［3Dモデル］フォルダーは、移動・名称変更・削除ができない固定フォルダーです。

フォルダーを追加する

フォルダーを作成すると、分類ごとにファイルを管理することができます。
※［共有］フォルダーの下にのみ追加することができます。
　その他フォルダーに追加することはできません。

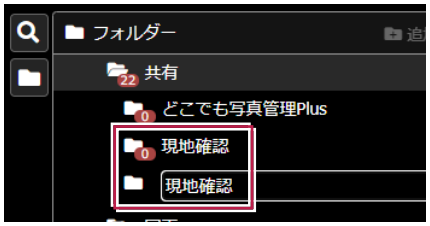
❶ 左側のフォルダー一覧で階層を追加するフォルダーを選択します。

❷［追加］をクリックします。

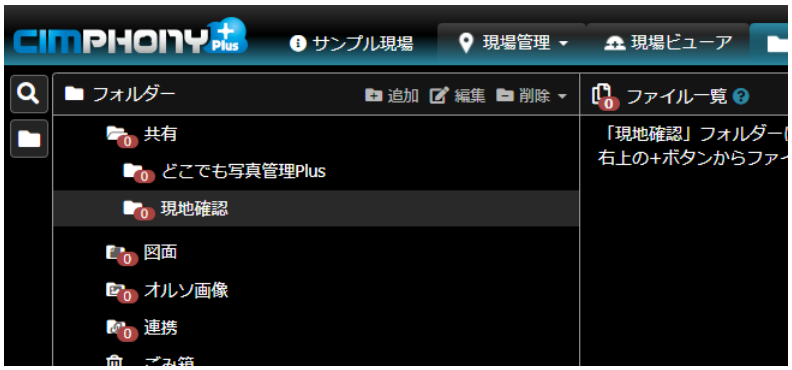
❸ 新しいフォルダーが追加されます。

❹ フォルダー名を入力します。
※禁止文字（¥/:*?"<>|）は使用できません。

同じ階層に同名のフォルダーを作成することはできませんのでご注意ください。



入力されたフォルダー名は既に使用されています。
フォルダー名を変更して、再度やり直してください。



フォルダーを移動する

フォルダーをドラッグ＆ドロップすると、移動することができます。

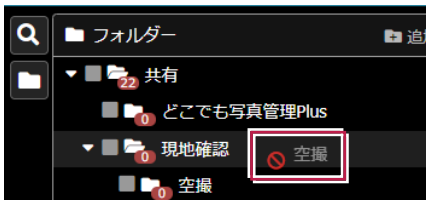
※［共有］フォルダーの下のフォルダーのみ移動することができます。
　その他フォルダーを移動することはできません。

※タブレット端末では移動できません。

❶ 移動するフォルダーをドラッグします。

❷ 移動後のフォルダーでドロップします。

同じ階層に同名のフォルダーが存在するなど、移動先として指定できない場所には、進入禁止マークが表示されます。



❸ フォルダーが移動して階層構成が変わります。

フォルダーの名称を変更する

フォルダーの名称を変更します。

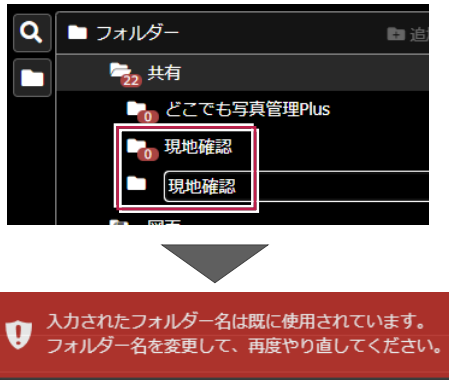
※［共有］フォルダーの下のフォルダーのみ名称変更することができます。
その他フォルダーを名称変更することはできません。

❶ 左側のフォルダー一覧で名称を変更するフォルダーを選択します。

❷［編集］をクリックします。

❸ フォルダー名を入力します。

同じ階層に同名のフォルダーを作成することはできませんのでご注意ください。



フォルダーを削除する

追加したフォルダーを削除します。
※［共有］フォルダーの下のフォルダーのみ削除することができます。
　その他フォルダーを削除することはできません。

■フォルダーを削除する

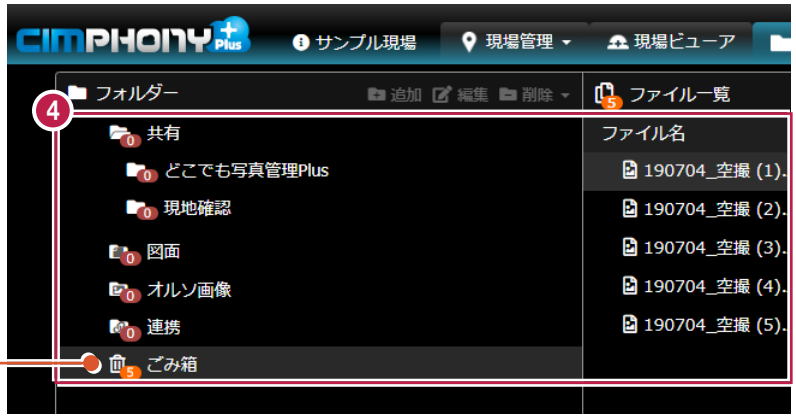
1つのフォルダーを削除します。

❶ 左側のフォルダー一覧で削除するフォルダーを選択します。

❷［削除］をクリックします。

❸［はい］をクリックします。

❹ フォルダー及びサブフォルダーが削除され、フォルダー内の全ファイルがごみ箱に移動します。



ごみ箱のファイルを「元に戻す」と、元のフォルダーは削除されているため［共有］フォルダーに移動します。

フォルダーと同時にフォルダー内の全ファイルを削除する場合は、［削除▼］－［完全に削除］をクリックしてください。

■フォルダーを一括削除する

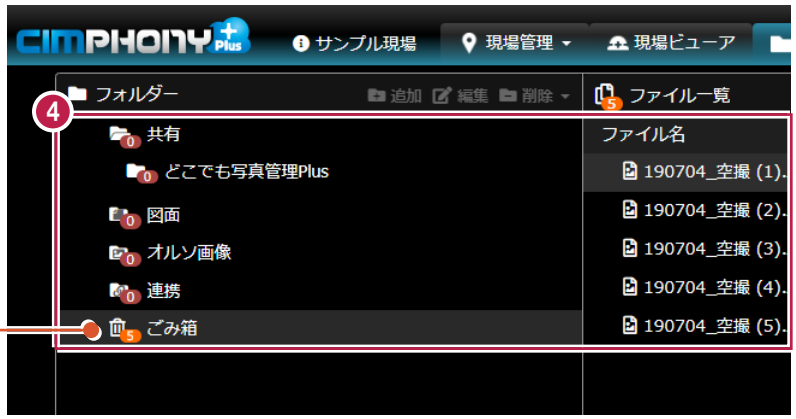
複数のフォルダーを一括削除します。

❶ 左側のフォルダー一覧で削除するフォルダーを複数選択します。

❷ フォルダー一覧右下の［一括削除］をクリックします。

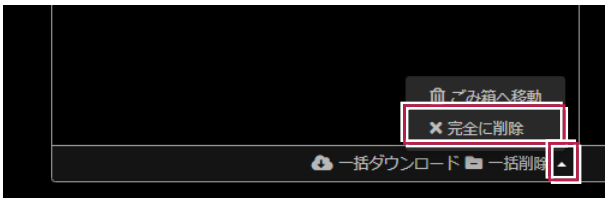
❸ ［はい］をクリックします。

❹ フォルダー及びサブフォルダーが削除され、フォルダー内の全ファイルがごみ箱に移動します。



ごみ箱のファイルを「元に戻す」と、元のフォルダーは削除されているため［共有］フォルダーに移動します。

フォルダーと同時にフォルダー内の全ファイルを削除する場合は、［一括削除▲］－［完全に削除］をクリックしてください。



ファイルを追加する

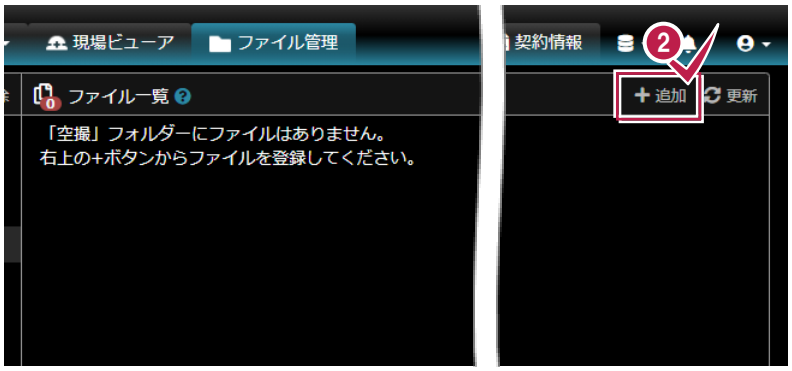
フォルダーにファイルを追加します。

■ 写真・動画ファイルを追加する

［共有］フォルダー内に写真や動画などのファイルを登録すると、現場ビューアに写真や動画マークを表示することができます。

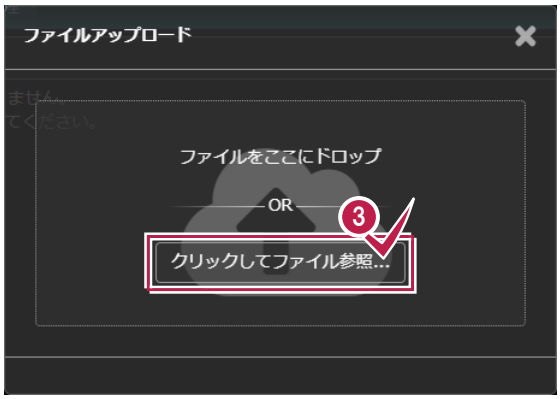
❶ 左側のフォルダー一覧でファイルの取り込み先（［共有］以下のフォルダー）を選択します。

❷ ファイル一覧で［追加］をクリックします。



❸［クリックしてファイル参照］をクリックします。

※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



フォルダーをドラッグ&ドロップした場合

フォルダー内のファイルのみ登録されます。
フォルダーは自動作成されませんので
ご注意ください。

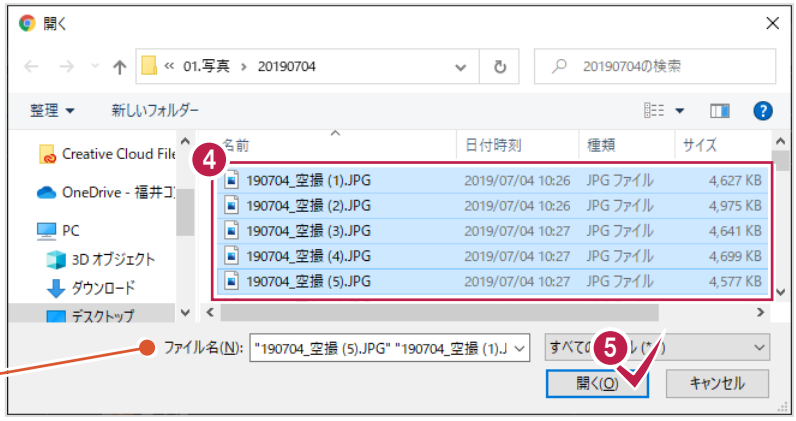
❹ アップロードするファイルを選択します。

※複数のファイルを選択できます。

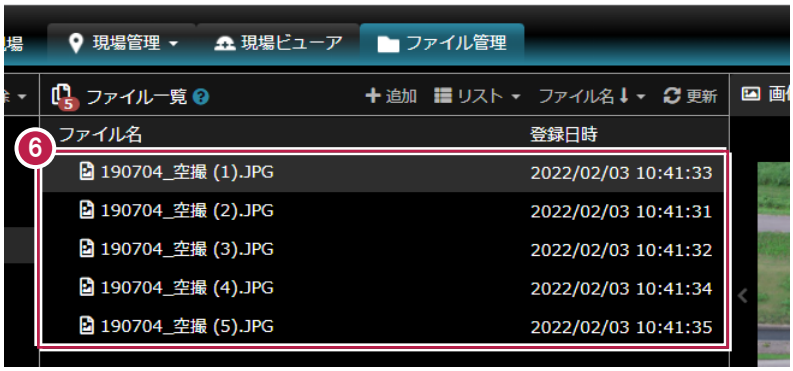
※取り込み先フォルダー内のファイルと同名のファイルを追加することはできません。
ファイル名を変更して追加してください。

❺ ［開く］をクリックします。

［動画］コマンドに対応するファイルの拡張子は、「mp4」「webm」です。



❻ ファイルが取り込まれます。



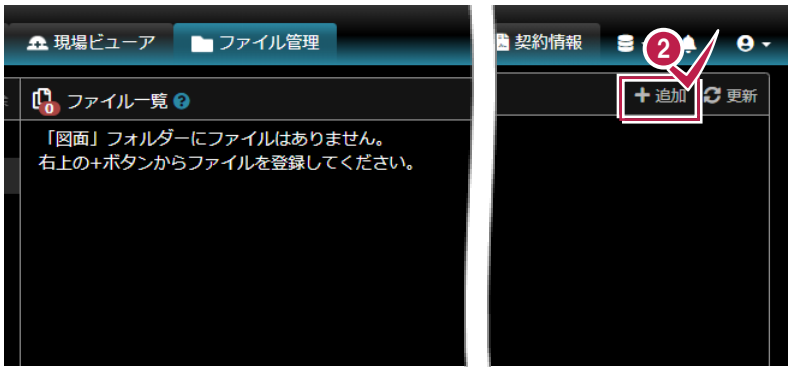
別のアカウントで追加したファイルが表示されない等の場合は、ファイル一覧の［更新］をクリックしてクラウド上を最新の状態にしてください。

■ 図面ファイルを追加する

［図面］フォルダーに図面ファイルを登録すると、現場ビューアに図面を表示することができます。
また、図面ビューアで確認することもできます。
対応するファイルの拡張子は、「sfc」「p21」「dwg」「dxf」「xml（福井コンピュータAscii形式ファイル）」です。

❶ 左側のフォルダー一覧で［図面］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で［追加］をクリックします。



❸［クリックしてファイル参照］をクリックします。

※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。

❹ アップロードするファイルを選択します。

※複数ファイルを選択することはできません。

※取り込み先フォルダー内のファイルと同名のファイルを追加することはできません。
ファイル名を変更して追加してください。

❺ ［開く］をクリックします。

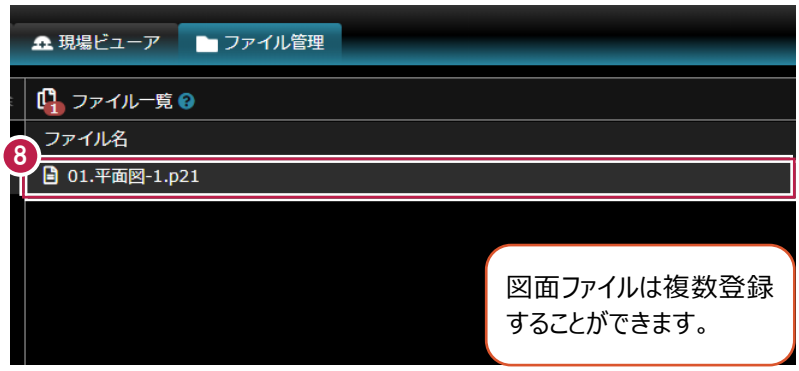
❻ ［データの単位］［現場ビューア］を設定します。

［データの単位］：ファイルの拡張子が「dwg」「dxf」の場合に設定できます。

［現場ビューア］：現場ビューアに表示する場合は［表示する］をオンにします。

❼ ［保存］をクリックします。

❽ ファイルが取り込まれます。



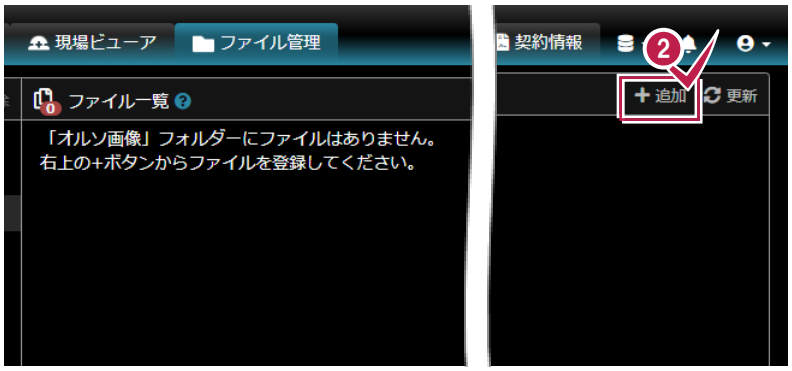
図面ファイルは複数登録することができます。

■ オルソ画像ファイルを追加する

［オルソ画像］フォルダーに位置情報を持つオルソ画像データ（GeoTIFFファイル）を登録すると、現場ビューアの座標位置に画像を表示することができます。
対応するファイルの拡張子は、「tif」「tiff」です。

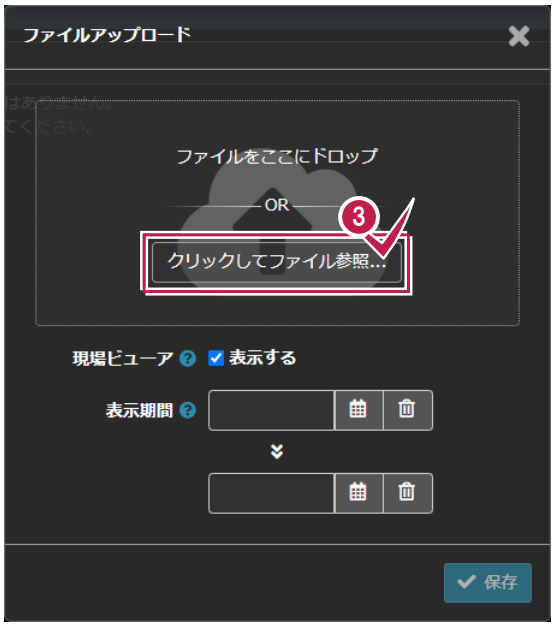
❶ 左側のフォルダー一覧で
［オルソ画像］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で［追加］をクリックします。



❸［クリックしてファイル参照］をクリックします。

※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



❹ アップロードするファイルを選択します。

※複数ファイルを選択することはできません。

※取り込み先フォルダー内のファイルと同名のファイルを追加することはできません。
ファイル名を変更して追加してください。

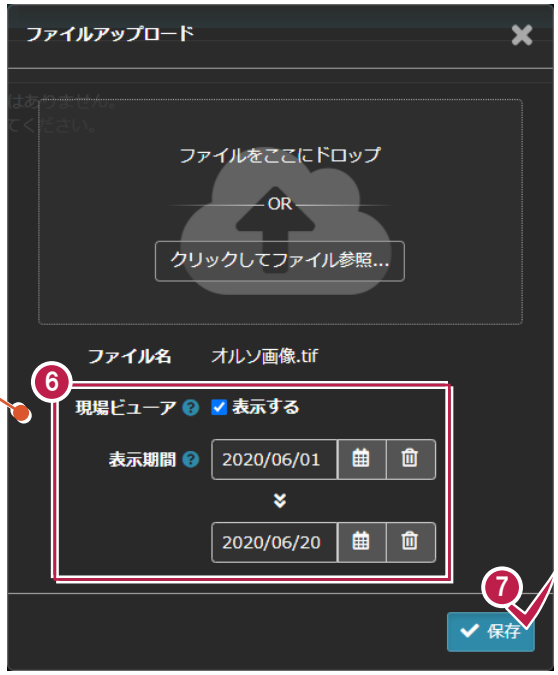
❺ ［開く］をクリックします。

❻ ［現場ビューア］［表示期間］を設定します。

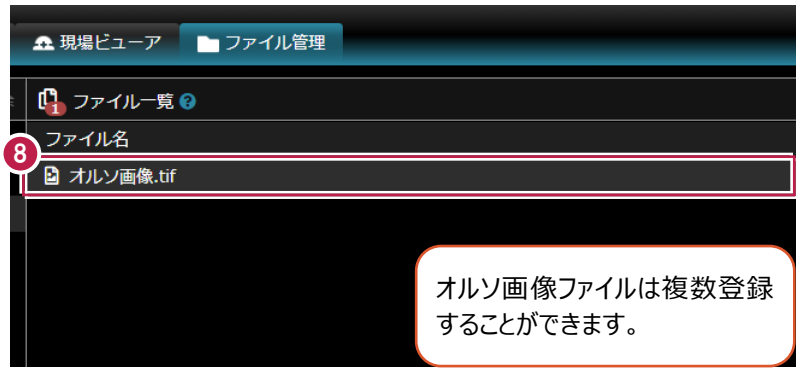
［現場ビューア］：現場ビューアに表示する場合は［表示する］をオンにします。

［表示期間］：現場ビューアに表示する期間を設定します。
工事の全期間表示する場合は、右側の［選択クリア］をクリックして、空欄にしてください。

❼ ［保存］をクリックします。



❽ ファイルが取り込まれます。



オルソ画像ファイルは複数登録することができます。

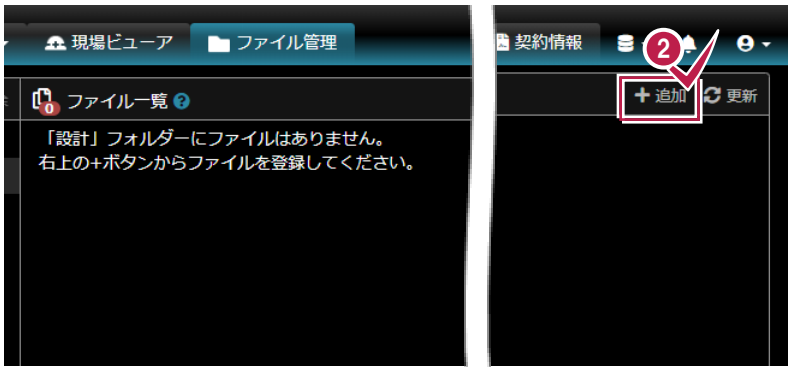
現場作成時に［平面直角座標系］を正しく設定していない場合、現場ビューアの該当箇所に画像が表示されません。
［平面直角座標系］の設定方法および注意点は、「現場を新規作成する」を参照してください。

■ 設計ファイルを追加する 3D

［設計］フォルダーに設計データ（LandXMLファイル）を登録すると、現場ビューアで土量進捗などを確認することができます。
また、設計ビューアで確認することもできます。
対応するファイルの拡張子は、「xml」です。

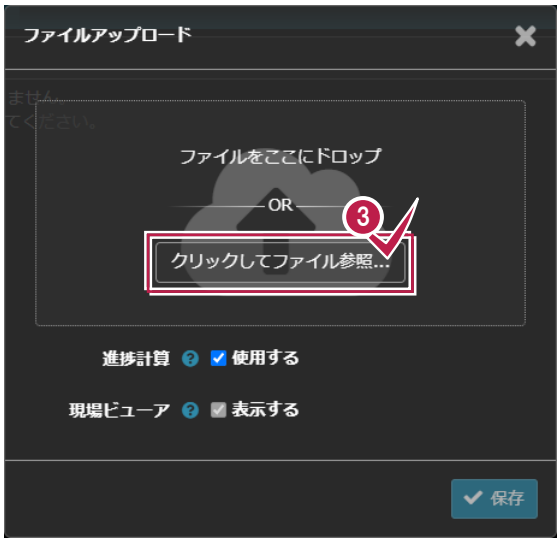
❶ 左側のフォルダー一覧で［設計］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で［追加］をクリックします。



❸［クリックしてファイル参照］をクリックします。

※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



❹ アップロードするファイルを選択します。

※複数ファイルを選択することはできません。

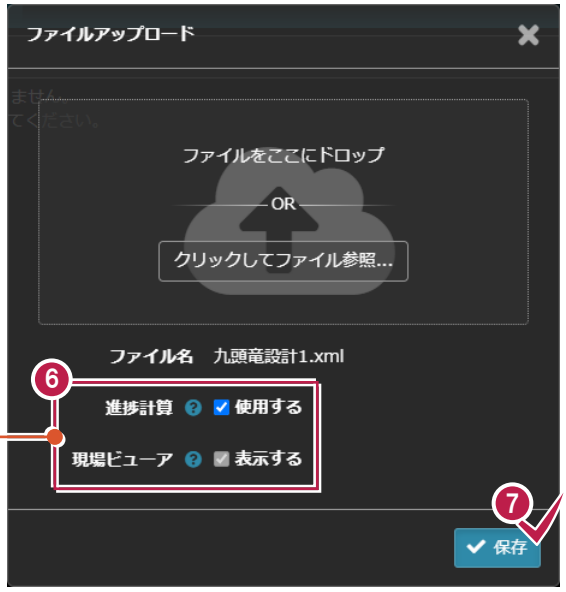
※取り込み先フォルダー内のファイルと同名のファイルを追加することはできません。
ファイル名を変更して追加してください。

❺ ［開く］をクリックします。

❻ ［進捗計算］［現場ビューア］を設定します。

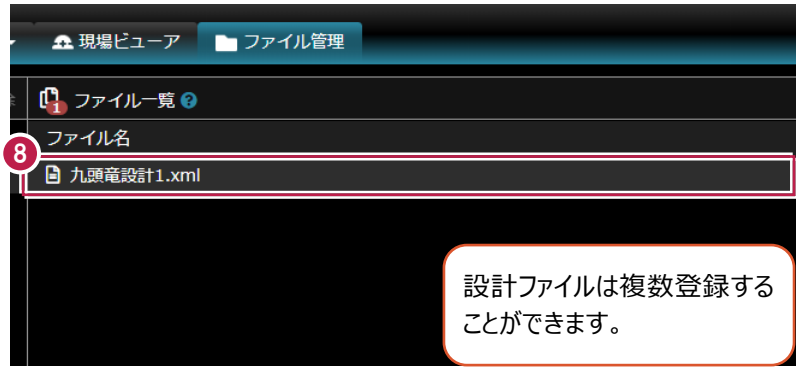
［進捗計算］：進捗計算に使用する場合は［使用する］をオンにします。
［現場ビューア］の［表示する］は自動でオンになります。
※進捗計算用に設定できる設計データは1つのみです。
※［使用する］をオンにすると、点群データが再計算される場合があります。
設計ファイル取り込み後、［点群］フォルダーでデータの処理状況を確認してください。

［現場ビューア］：現場ビューアに表示する場合は［表示する］をオンにします。
［進捗計算］がオフの時に設定できます。



❼ ［保存］をクリックします。

❽ ファイルが取り込まれます。



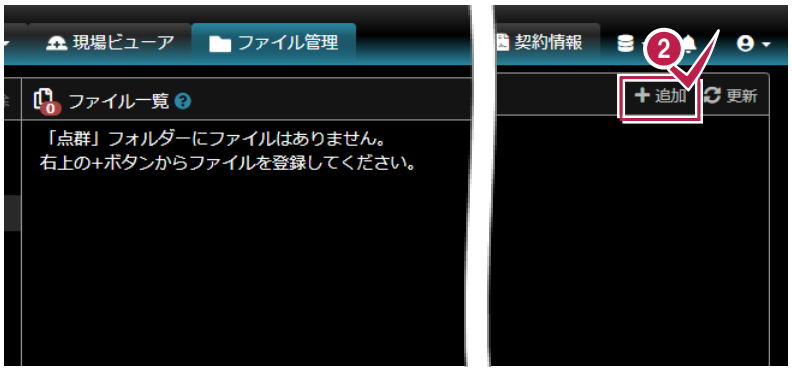
設計ファイルは複数登録することができます。

■ 点群ファイルを追加する 3D

［点群］フォルダーに点群データを登録すると、現場ビューアで土量進捗などを確認することができます。
また、点群ビューアで確認することもできます。
対応するファイルの拡張子は、「txt」「csv」「asc」「xyz」「las」「laz」「e57」です。

❶ 左側のフォルダー一覧で［点群］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で［追加］をクリックします。



❸［クリックしてファイル参照］をクリックします。

※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。

❹ アップロードするファイルを選択します。

※複数ファイルを選択することはできません。

※取り込み先フォルダー内のファイルと同名のファイルを追加することはできません。
ファイル名を変更して追加してください。

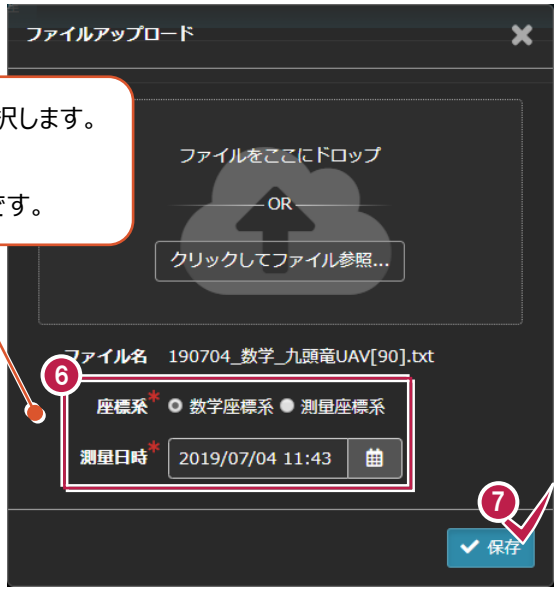
❺ ［開く］をクリックします。

❻ ［座標系］［測量日時］を設定します。

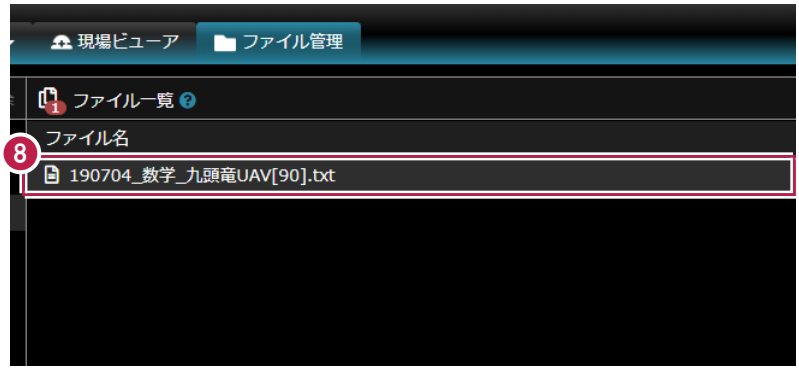
［座標系］：登録するファイルの座標系を選択します。

［測量日時］：測量日時を設定します。
現場の工期内が選択可能です。

❼ ［保存］をクリックします。



❽ ファイルが取り込まれます。



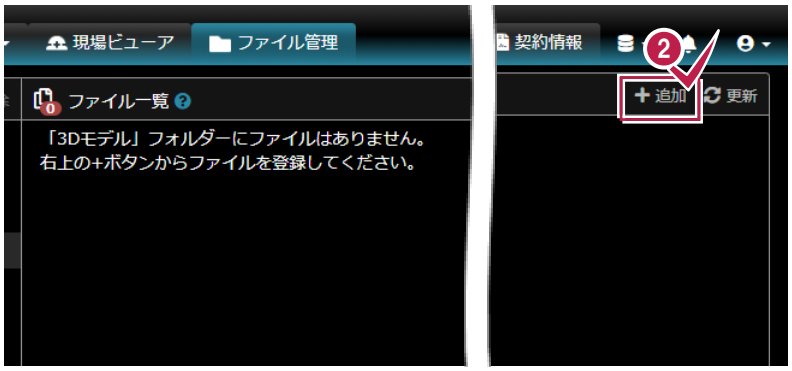
点群ファイルは複数登録することができます。
ただし、進捗計算の基準となるデータ（一番古い測量日のデータ）を複数登録することはできません。

■ 3D モデルファイルを追加する 3D

［3Dモデル］フォルダーに3Dモデルデータを登録すると、現場ビューアで形状を表示することができます。
また、3Dモデルビューアで確認することもできます。
対応するファイルの拡張子は、「ifc」「dwg」「dxf」「skp」です。

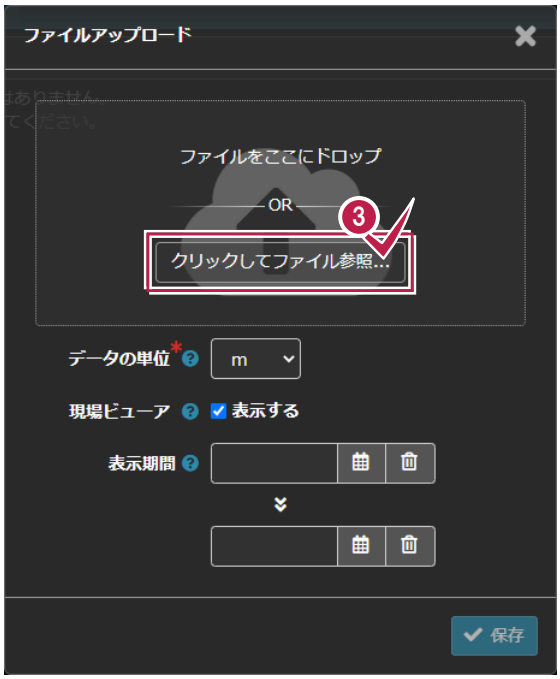
❶ 左側のフォルダー一覧で
［3D モデル］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で［追加］をクリックします。



❸［クリックしてファイル参照］をクリックします。

※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



❹ アップロードするファイルを選択します。

※複数ファイルを選択することはできません。

※取り込み先フォルダー内のファイルと同名のファイルを追加することはできません。
ファイル名を変更して追加してください。

❺ ［開く］をクリックします。

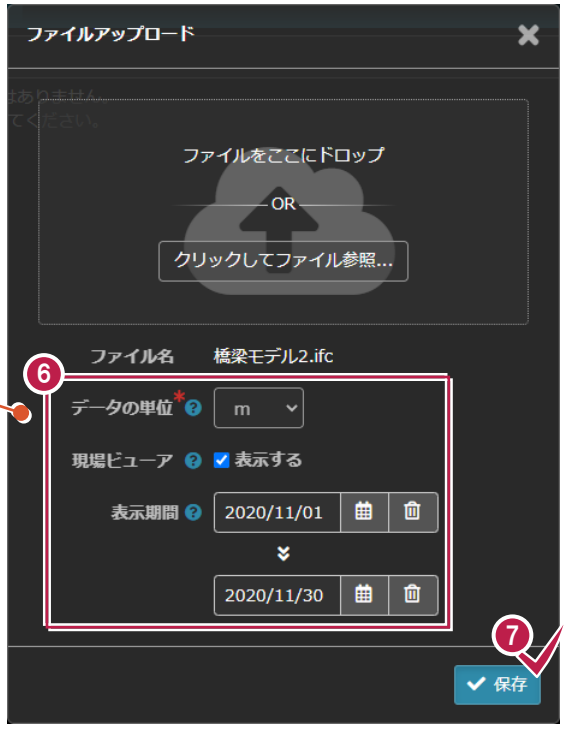
❻ ［データの単位］［現場ビューア］
［表示期間］を設定します。

［データの単位］：ファイルの拡張子が「dwg」「dxf」の場合に設定できます。

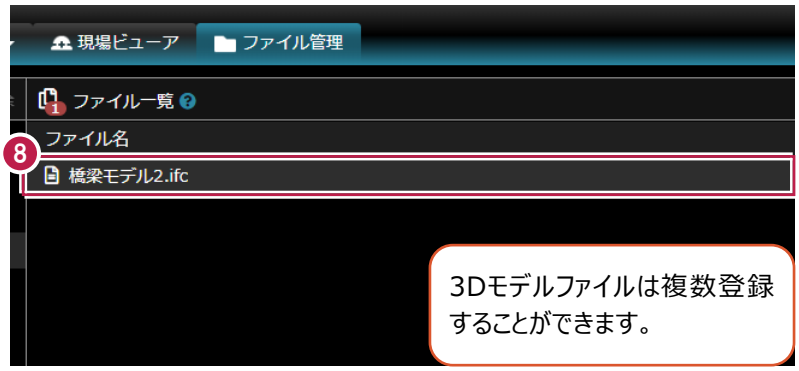
［現場ビューア］：現場ビューアに表示する場合は［表示する］をオンにします。

［表示期間］：現場ビューアに表示する期間を設定します。
工事の全期間表示する場合は、右側の［選択クリア］をクリックして、空欄にしてください。

❼ ［保存］をクリックします。



❽ ファイルが取り込まれます。



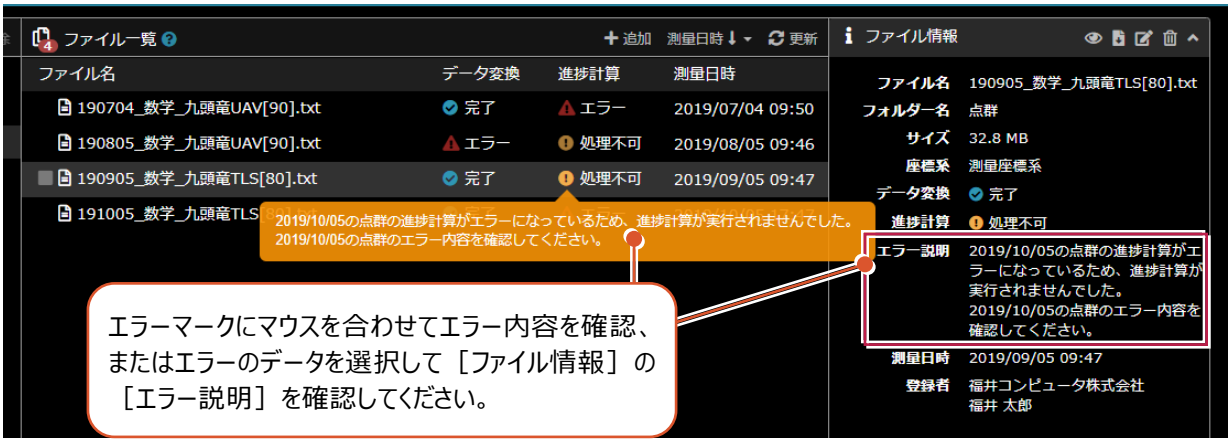
3Dモデルファイルは複数登録することができます。

補足

データの処理状況について

ファイルを追加後、データ変換処理が完了すると、現場ビューアや専用ビューアでの確認が可能になります。
ファイル一覧で［更新］をクリックして、現在の処理状況を確認してください。

尚、「エラー」や「処理不可」となったデータは現場ビューアに表示されません。
エラー内容を確認して、データを登録し直してください。



3D　点群データの場合

［進捗計算］が「エラー」や「処理不可」になっていても、
［データ変換］が「完了」になれば点群ビューアで確認することができます。

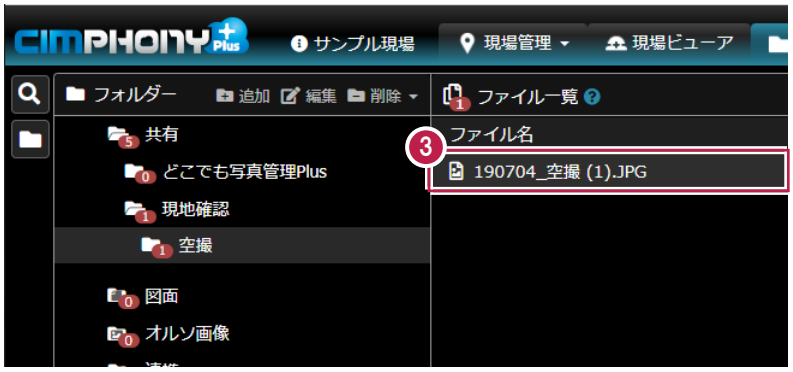
ファイルを移動する

ファイルをフォルダーにドラッグ＆ドロップすると、移動することができます。
※［共有］フォルダー内のファイルのみ移動することができます。
　その他フォルダーのファイルを移動することはできません。
※タブレット端末では移動できません。

❶ 移動するファイルをドラッグします。

❷ 移動後のフォルダーでドロップします。
※移動先フォルダーに同名のファイルが存在する場合は移動できません。
ファイル名を変更後に移動してください。

❸ ファイルが移動します。



補足　ファイルを一括移動する

複数ファイルを選択して移動することもできます。

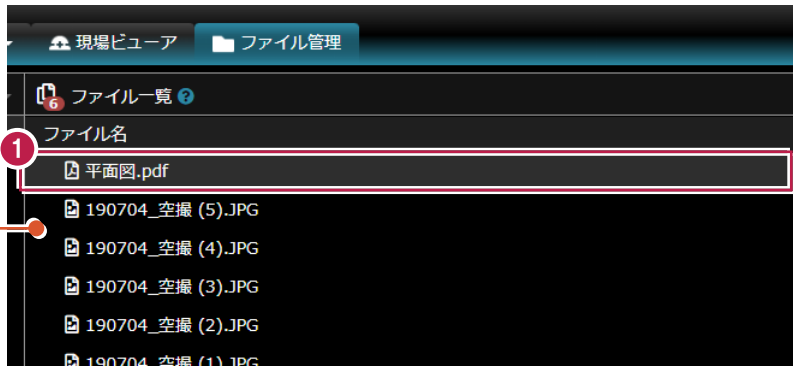
ファイル名にマウスを合わせると、
左側にチェックボックスが表示されるので、
移動するファイルのチェックをオンにします。

ファイル情報を確認する

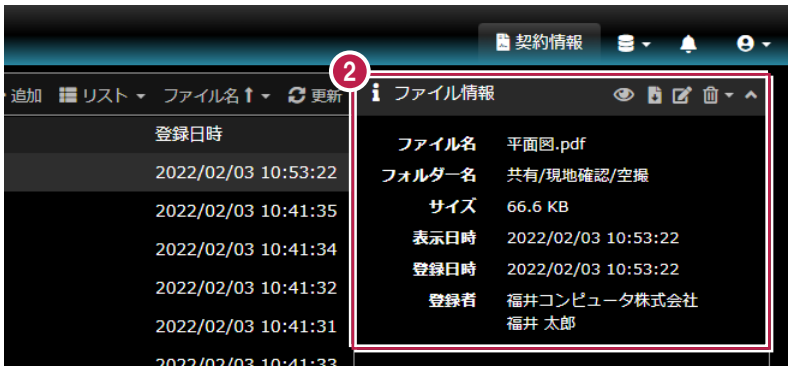
ファイルサイズや登録者などの情報を確認します。

❶ ファイル一覧で確認するファイルを選択します。

画像、動画、PDFファイルをダブルクリックすると、専用ビューアが表示されます。
専用ビューアの詳細は、「画像・動画・PDFビューア」、「パノラマビューア」を参照してください。



❷ 右側にファイル情報が表示されます。



写真ファイルを選択した場合は、以下のように［画像］［ファイル情報］などが表示されます。

画像や動画、PDFの［ビューア］をクリックすると、専用ビューアが表示され、画像や動画、PDFの確認ができます。
専用ビューアの詳細は、「画像・動画・PDFビューア」、「パノラマビューア」を参照してください。

画像プレビュー

ファイル情報

Exif情報

補足

360°データ（全天球画像/動画）をパノラマビューアで確認する

画像、動画ファイル（拡張子「jpg」「jpeg」「mp4」）の［ファイル情報］－［360°データ］が［はい］の場合、［ビューア］ボタンをクリックすると、パノラマビューアが起動します。

パノラマビューアの詳細は、「パノラマビューア」を参照してください。

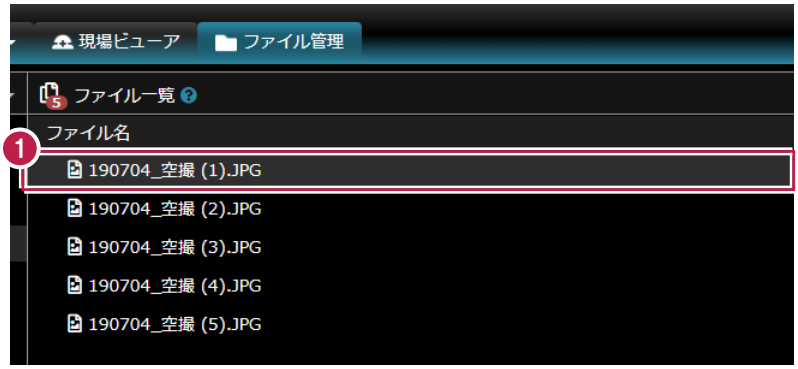
ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusに登録されているファイルをパソコンに保存します。
※ごみ箱内のファイルをダウンロードすることはできません。

■ファイルをダウンロードする

1つのファイルをダウンロードします。

❶ ファイル一覧でダウンロードするファイルを選択します。



❷ 右側の［ファイル情報］で［ダウンロード］をクリックします。

❸ 保存先を指定します。

❹［ファイル名］を入力します。

❺［保存］をクリックします。

■ファイルを一括ダウンロードする

複数のファイルを一括ダウンロードします。

❶ ファイル一覧でダウンロードするファイルのチェックをオンにします。

ファイル名にマウスを合わせるとチェックボックスが表示されます。

フォルダー内のすべてのファイルを選択する場合は、［全選択］をクリックします。

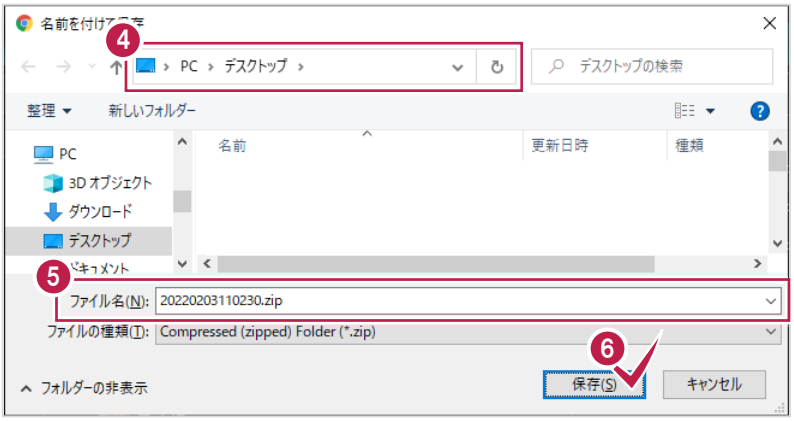
❷ ファイル一覧右下の［一括ダウンロード］をクリックします。

❸ ［はい］をクリックします。

❹ 保存先を指定します。

❺ ［ファイル名］を入力します。

❻ ［保存］をクリックします。



圧縮ファイル形式で保存されます。展開してご利用ください。

2019090213
5749.zip

補足

フォルダー内のファイルを一括ダウンロードする

フォルダー内のファイルを一括ダウンロードする場合は、フォルダー一覧で該当のフォルダーをオンにし、フォルダー一覧右下の［一括ダウンロード］をクリックしてください。

※［共有］［連携］以下のフォルダーのみ［一括ダウンロード］することができます。
　その他フォルダーで［一括ダウンロード］することはできません。

補足

Trimble Connect 連携について

ファイル管理右下の［連携］で、Trimble Connectへファイル転送、Trimble Connectから画像ファイルを受信して登録することができます。

※Trimble Connect連携を利用する場合は、事前にTrimble Connectでアカウントを登録して、プロジェクトとフォルダを作成してください。

※［Trimble Connectから同期］を行う場合は、事前にTrimble ConnectでToDoを作成し、添付ファイルを追加してください。

■Trimble Connect へ転送

❶ 左側のフォルダー一覧で［共有］以下のフォルダーを選択します。

❷ 転送するファイルのチェックをオンにします。

（1 ファイルのみ登録されている場合は、そのまま手順 3 に進んでください。）

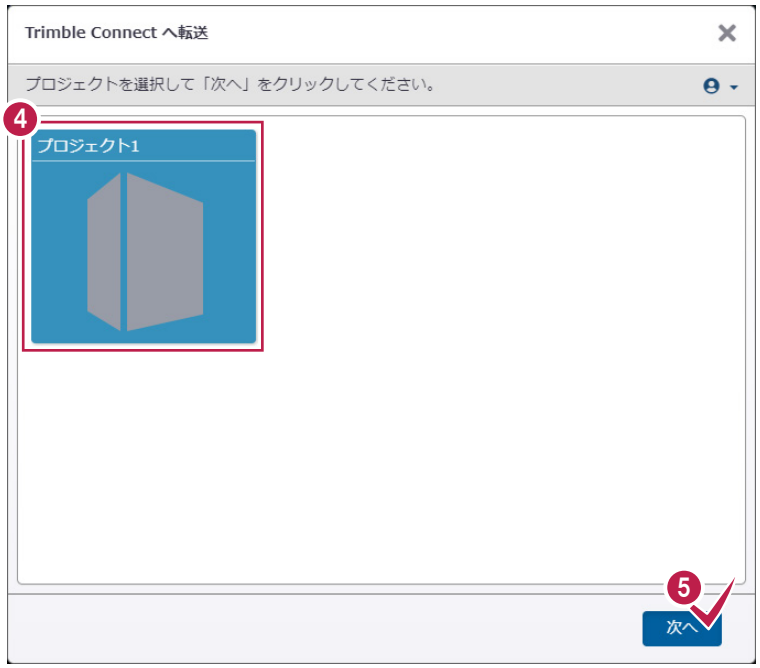
ファイル名にマウスを合わせるとチェックボックスが表示されます。

フォルダー内のすべてのファイルを選択する場合は、［全選択］をクリックします。

❸ ファイル一覧右下の［連携］－［Trimble Connect へ転送］をクリックします。

❹ プロジェクトを選択します。

❺［次へ］をクリックします。

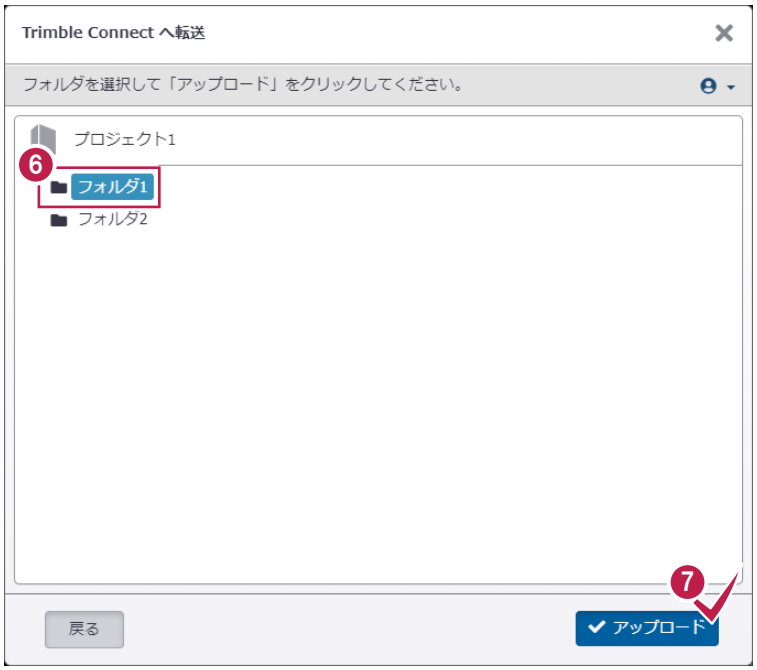


（次ページへ続きます）

❻ フォルダを選択します。

❼ ［アップロード］をクリックします。

Trimble Connect にファイルがアップロードされます。



■ Trimble Connect から同期

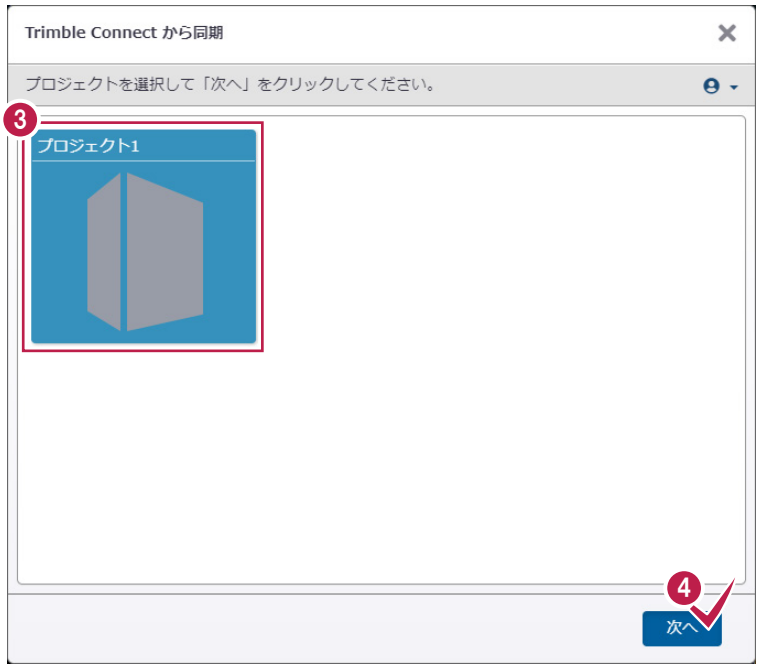
❶ 左側のフォルダー一覧で［共有］以下のフォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧右下の［連携］－［Trimble Connect から同期］をクリックします。

（次ページへ続きます）

❸ プロジェクトを選択します。

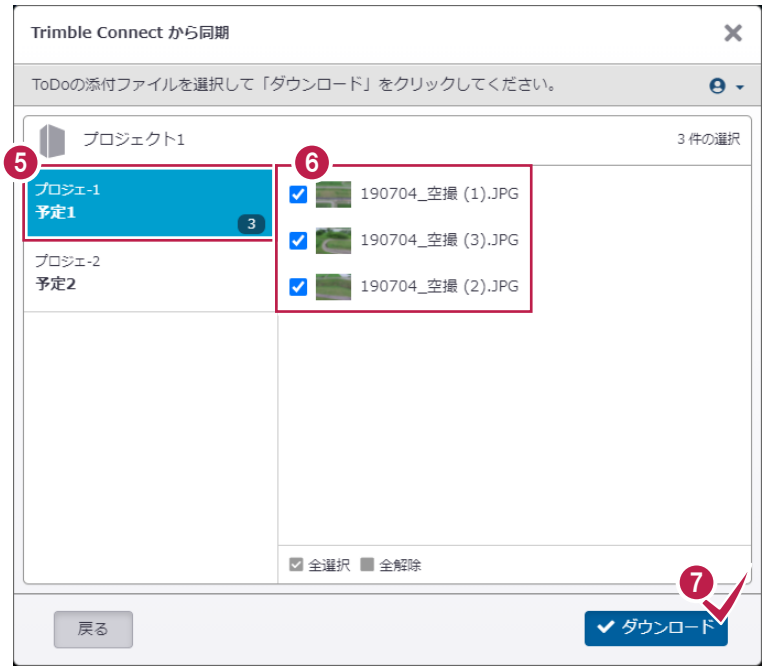
❹ ［次へ］をクリックします。



❺ ToDo を選択します。

❻ ダウンロードする添付ファイルを選択します。

❼ ［ダウンロード］をクリックします。
ファイル管理にファイルが登録されます。



3D **TerraceAR 連携について**

TREND-COREからCIMPHONY Plusへアップロードした3Dモデルデータ（FBXファイル）は、iOSアプリ「TerraceAR」に連携することができます。

TerraceARとは、お持ちのiPhoneやiPadで手軽にARを体験することができる建設業特化型ARアプリです。
TerraceARにCIMPHONY Plusの3Dモデルデータ（FBXファイル）をダウンロードして、ARコンテンツとして配置することができます。
また、撮影した写真や動画はCIMPHONY Plusにアップロードすることができます。
施工計画や不可視部分の確認など、現場とモデルを融合した写真を位置・時間情報とともに管理し、簡単に共有することでスムーズな意思疎通を支援します。

TerraceARの詳細、及び操作方法は、公式ホームページを参照してください。
https://nexterrace.com/stories/terracear/

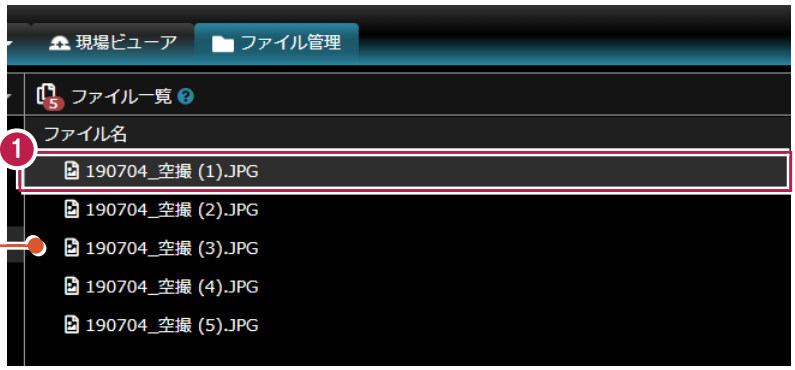
ファイル情報を編集する

ファイル情報を編集します。

❶ ファイル一覧でファイル情報を編集するファイルを選択します。

ここでは、［共有］フォルダー内のファイルを選択します。

画像、動画、PDFファイルをダブルクリックすると、専用ビューアが表示されます。
専用ビューアの詳細は、「画像・動画・PDFビューア」、「パノラマビューア」を参照してください。



❷ 右側の［ファイル情報］で［編集］をクリックします。

❸ ［ファイル名］を変更します。

❹ ［表示日時］を変更します。

❺ ［保存］をクリックします。

360°データ（全天球画像/動画）をパノラマビューアで確認する場合は、［360°データ］で［はい］を選択します。
［360°データ］はファイルの拡張子が「jpg」「jpeg」「mp4」の場合に表示されます。

3D 360°データ（全天球画像/動画）を［VR 用データ］に設定する

360°データ（全天球画像/動画）を［TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定］の［VR用データ］に設定する場合は、［360°データ］で［はい］を選択します。

［360°データ］はファイルの拡張子が「jpg」「jpeg」「mp4」の場合に表示されます。

［TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定］の詳細は、「TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定を行う」を参照してください。

補足

図面・オルソ画像データのファイル情報編集について

［図面］［オルソ画像］フォルダーのデータは、ファイルごとに［ファイル名］［現場ビューア］を設定することができます。
オルソ画像は［表示期間］を変更することもできます。

［現場ビューア］：現場ビューアに表示する場合は［表示する］をオンにします。

［表示期間］：現場ビューアに表示する期間を設定します。
工事の全期間表示する場合は、右側の［選択クリア］をクリックして、空欄にしてください。

3D 3D モデルデータのファイル情報編集について

［3Dモデル］フォルダーのデータも同様に、ファイルごとに
［ファイル名］［現場ビューア］［表示期間］を変更することができます。

3D 設計データのファイル情報編集について

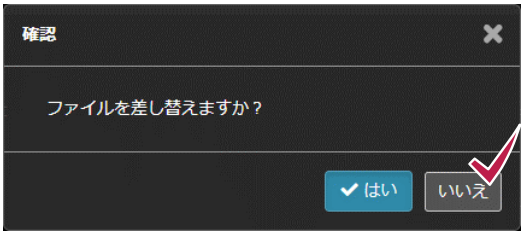
［設計］フォルダーのデータは、ファイルごとに［ファイル名］［進捗計算］［現場ビューア］を設定することができます。

［進捗計算］：進捗計算に使用する場合は［使用する］をオンにします。
［現場ビューア］の［表示する］は自動でオンになります。
※進捗計算用に設定できる設計データは1つのみです。
※設定を変更すると、点群データも再計算される場合があります。
［点群］フォルダーでデータの処理状況を確認してください。

［現場ビューア］：現場ビューアに表示する場合は［表示する］をオンにします。
［進捗計算］がオフの時に設定できます。

3D 点群データのファイル情報編集について

点群データを選択して［ファイル情報］の［編集］をクリックすると、ファイルの差し替え確認ダイアログが表示されます。
［はい］をクリックすると、ファイルアップロードダイアログが表示され、ファイルの差し替えが可能です。
［いいえ］をクリックすると、［ファイル名］［座標系］［測量日時］を変更することができます。



一番古い測量日の点群データは進捗計算の基準となります。基準となる点群データは1つのみです。

以下のように、測量日が「7/4」のデータの［測量日時］を「10/5」以降に変更すると、進捗計算の基準となるデータ（測量日が「10/5」のデータ）が複数になってしまいます。

このような場合は、［測量日時］を「10/5」以降に変更することはできません。

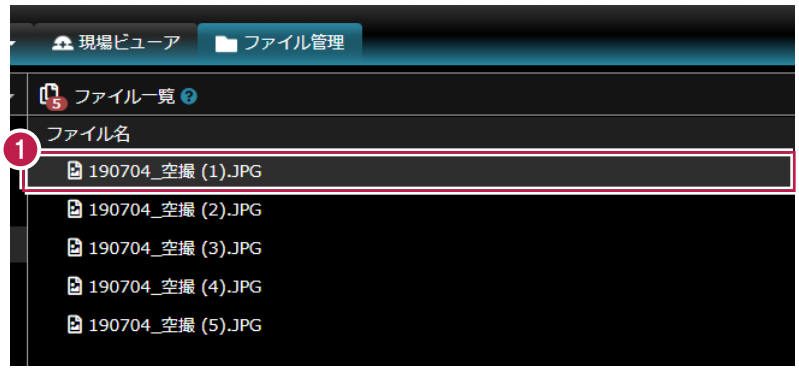
ファイルを削除する

ファイルを削除します。

■ファイルを削除する

1つのファイルを削除します。

❶ ファイル一覧で削除するファイルを選択します。



❷ 右側の［ファイル情報］で［削除］をクリックします。

❸ ［はい］をクリックします。

ファイルがごみ箱に移動します。

※ファイルをドラッグ＆ドロップして［ごみ箱］フォルダーに移動することもできます。

完全に削除する場合は、［削除▼］－［完全に削除］をクリックしてください。

■ファイルを一括削除する

複数のファイルを一括削除します。

❶ ファイル一覧で削除するファイルを複数選択します。

ファイル名にマウスを合わせるとチェックボックスが表示されます。

フォルダー内のすべてのファイルを選択する場合は、［全選択］をクリックします。

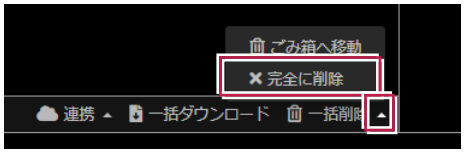
❷ ファイル一覧右下の［一括削除］をクリックします。

❸ ［はい］をクリックします。

ファイルがごみ箱に移動します。

※チェックをオンにしたファイルをドラッグ＆ドロップして［ごみ箱］フォルダーに移動することもできます。

完全に削除する場合は、［一括削除▲］－［完全に削除］をクリックしてください。

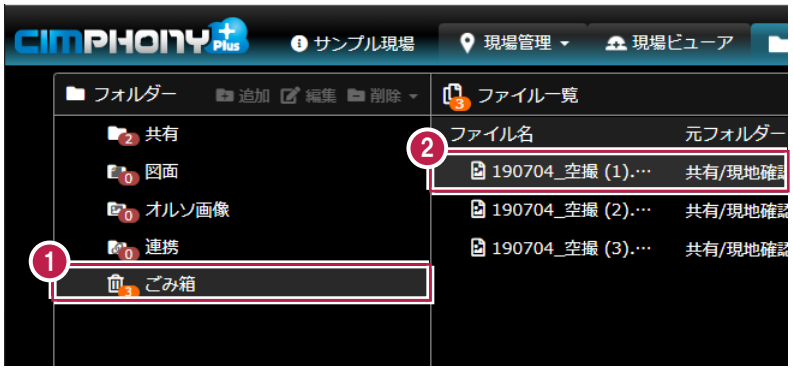


■ごみ箱のファイルを元に戻す

ごみ箱のファイルを元に戻します。

❶ 左側のフォルダー一覧で［ごみ箱］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で元に戻すファイルを選択します。



❸ 右側の［ファイル情報］で［元に戻す］をクリックします。

❹［はい］をクリックします。

ファイルが元のフォルダーに移動します。

※元のフォルダーが削除されている場合は、［共有］フォルダーに移動します。

※元フォルダーに同名のファイルが存在する場合は元に戻すことはできません。

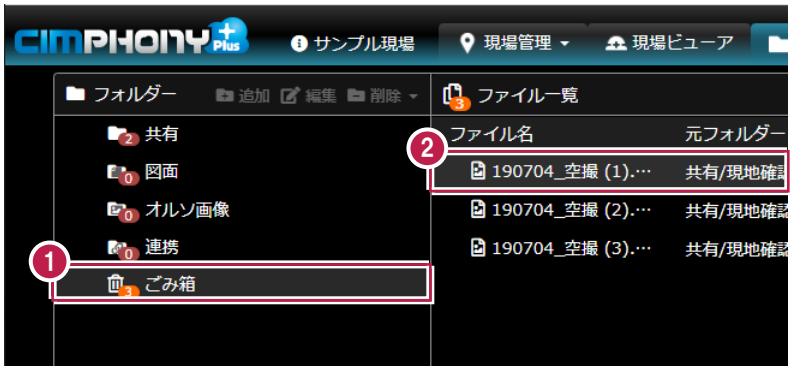
複数ファイルを一括で元に戻す場合は、元に戻すファイルのチェックをオンにしてファイル一覧右下の［一括元に戻す］をクリックしてください。

■ごみ箱のファイルを完全に削除する

ごみ箱のファイルを完全に削除します。

❶ 左側のフォルダー一覧で［ごみ箱］フォルダーを選択します。

❷ ファイル一覧で完全に削除するファイルを選択します。



❸ 右側の［ファイル情報］で［完全に削除］をクリックします。

❹［はい］をクリックします。

ファイルが完全に削除されます。

複数ファイルを一括で完全に削除する場合は、完全に削除するファイルのチェックをオンにしてファイル一覧右下の［一括完全削除］をクリックしてください。

補足

ファイルに紐づくデータの扱いについて

ファイルに紐づくデータ（機器・注釈・検査情報・TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定・設計ファイル変更履歴・計測結果）は、ごみ箱移動時に更新されます。

例えば、現場ビューアで配置した注釈に紐づくファイルをごみ箱に移動すると、注釈ごと削除されます。

ごみ箱に移動したファイルを元に戻しても、注釈は元に戻りません。

必要であれば、再登録してください。

3D

設計・点群ファイルを削除する際の注意点

設計・点群ファイルを削除、またはごみ箱から元に戻す際に、データが再計算される場合があります。

［設計］［点群］フォルダーでデータの処理状況を確認してください。

※進捗計算用の設計ファイルをごみ箱に移動すると、［進捗計算］は［使用しない］になります。

3D

削除できない点群ファイルについて

一番古い測量日の点群データは進捗計算の基準となります。

基準となる点群データは1つのみです。

以下のように、測量日が「7/4」のデータを削除すると、進捗計算の基準となるデータ（測量日が「10/5」のデータ）が複数になってしまいます。

このような場合は、測量日が「7/4」のデータは削除できません。

ファイルを検索する

条件を指定して［共有］フォルダー内の該当するファイルを表示します。

■検索条件を設定する

❶［共有］フォルダーを選択します。

（［共有］以下のフォルダーを選択して検索することもできます。）

❷ 画面左上の［検索］をクリックします。

❸ 検索条件を設定します。

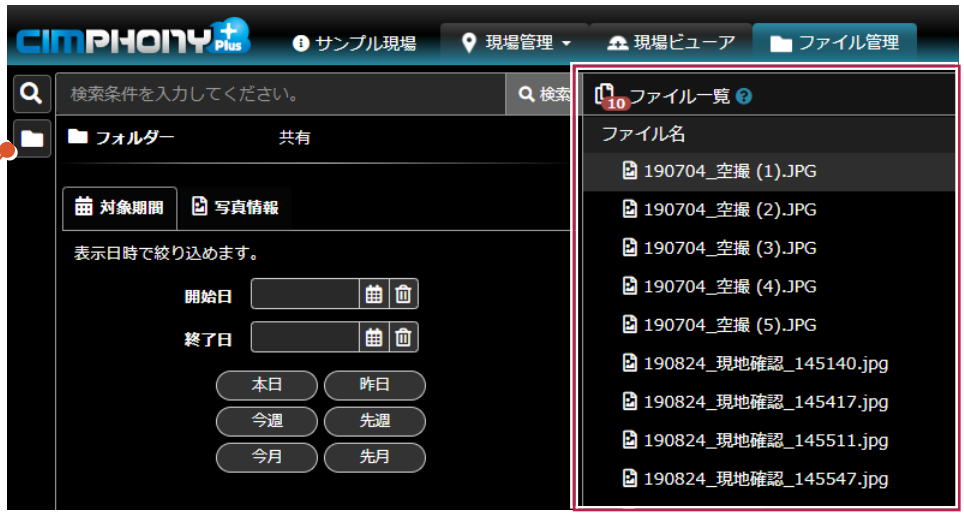
❹［検索］をクリックします。

指定した条件に該当するファイルが表示されます。

■ 検索条件を解除する

❶［条件クリア］をクリックします。

❷［検索］をクリックします。
検索表示が解除されます。



フォルダーボタンをクリックすると、
フォルダー一覧に戻ります。
検索条件に関わらず、すべての
ファイルが表示されます。

補足

検索条件について

入力ボックス：検索キーワードを入力します。
スペースを空けて複数キーワードを入力すると、
すべてのキーワードを含むデータを検索します。
［キーワード検索対象項目］
・ファイル情報（ファイル名、登録者名）
・写真情報（受注者名、撮影工種区分、
写真タイトル、撮影箇所）

［検索］：設定した条件で検索を実行します。
ダイアログ右下の検索ボタンも同様です。

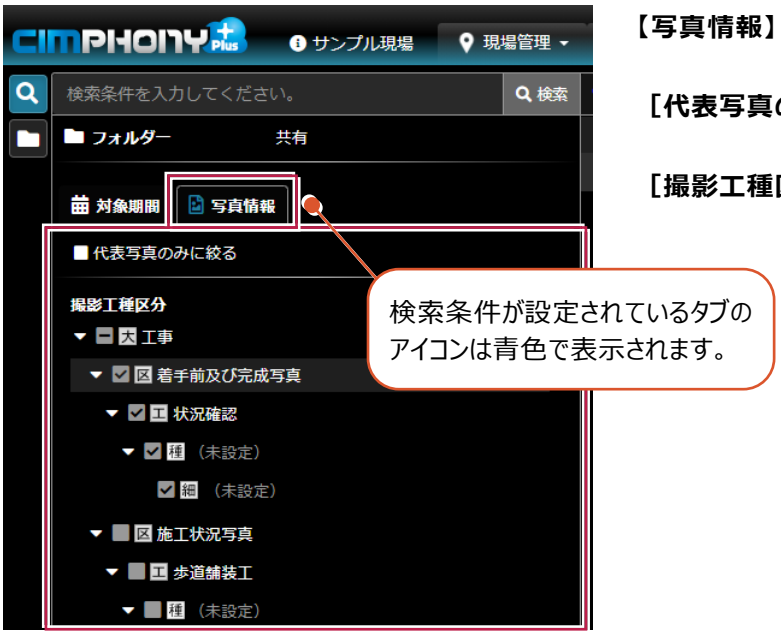
［条件クリア］：検索条件をクリアします。

【対象期間】

［開始日］：カレンダーボタンで表示開始日を指定します。
指定しない場合は、［選択クリア］ボタンを
クリックして空欄にします。

［終了日］：カレンダーボタンで表示終了日を指定します。
指定しない場合は、［選択クリア］ボタンを
クリックして空欄にします。

日付ボタン：本日、昨日、今週、先週、今月、先月の期間を
［開始日］［終了日］に設定します。



【写真情報】（写真情報を保持している写真が登録されている
場合に表示されます。）

［代表写真のみに絞る］：代表写真に設定されている写真
のみ検索したい場合、オンにします。

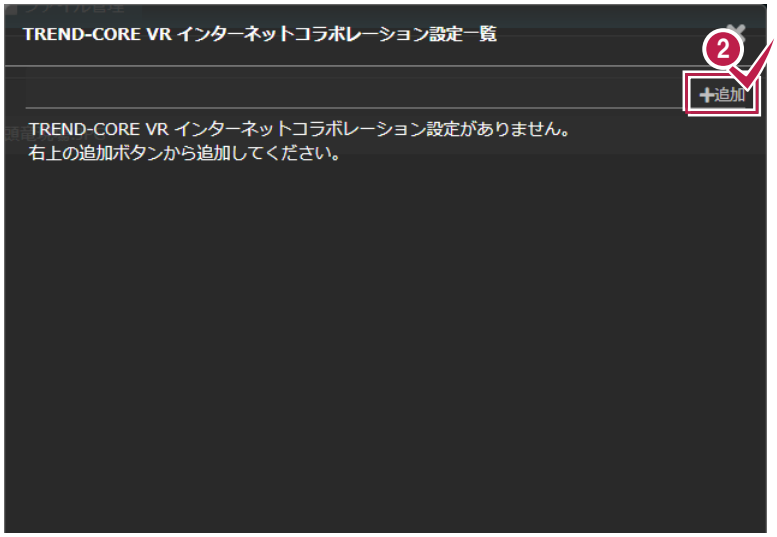
［撮影工種区分］：検索したい写真の工種区分をオンに
します。

TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定を行う 3D

TREND-CORE VR インターネットコラボレーションを行うためのVRデータ、VR参加者を管理します。
TREND-CORE VRとのコラボレーション操作については、「その他アプリとの連携」－「TREND-CORE VRとの連携」の「TREND-CORE VR CIMPHONY Plusご利用に関する情報」を参照してください。

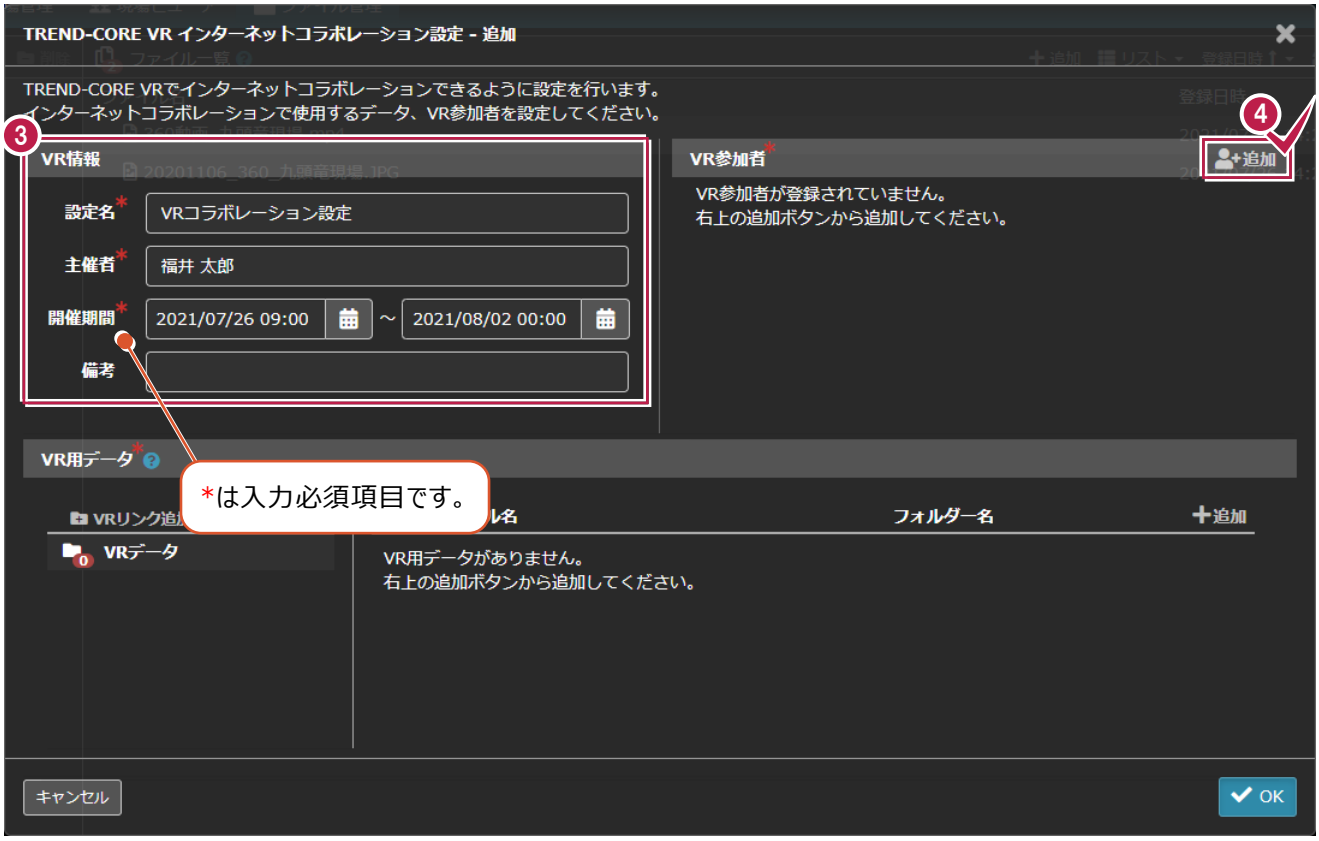
❶［ファイル管理］左下の［TREND-CORE VR インターネットコラボレーション設定］をクリックします。

❷［追加］をクリックします。



❸［VR 情報］を入力します。

❹［VR 参加者］の［追加］をクリックします。



❺ コラボレーションに参加するユーザーのチェックをオンにします。

現場に招待されているユーザーが一覧表示されます。

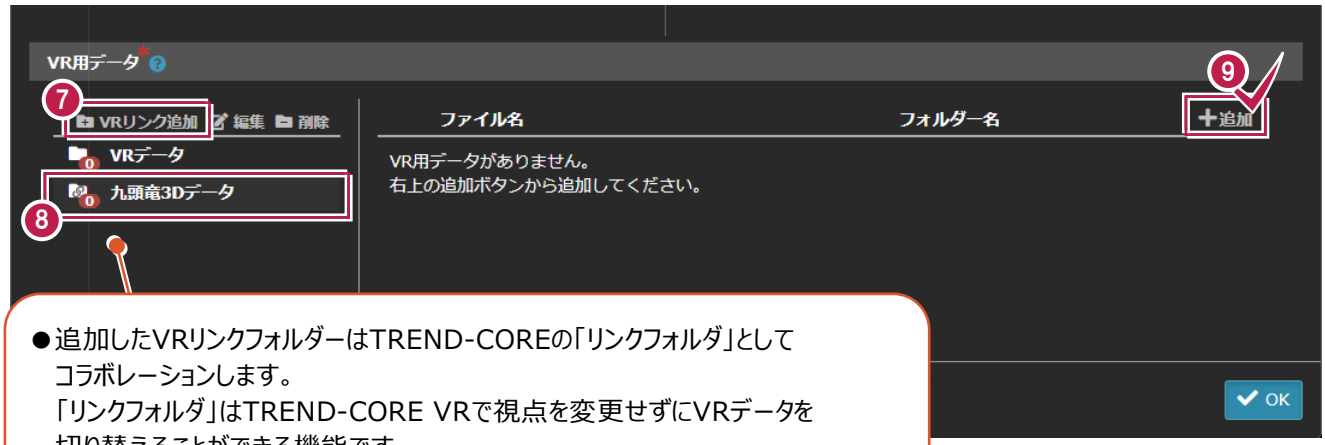
現場の参加者からユーザーを検索することができます。

❻ ［OK］をクリックします。

❼ ［VR リンク追加］をクリックします。

❽ VR リンク名を入力します。

❾ ［追加］をクリックします。

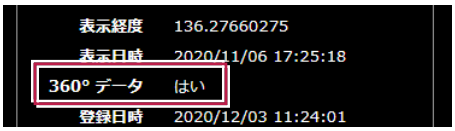


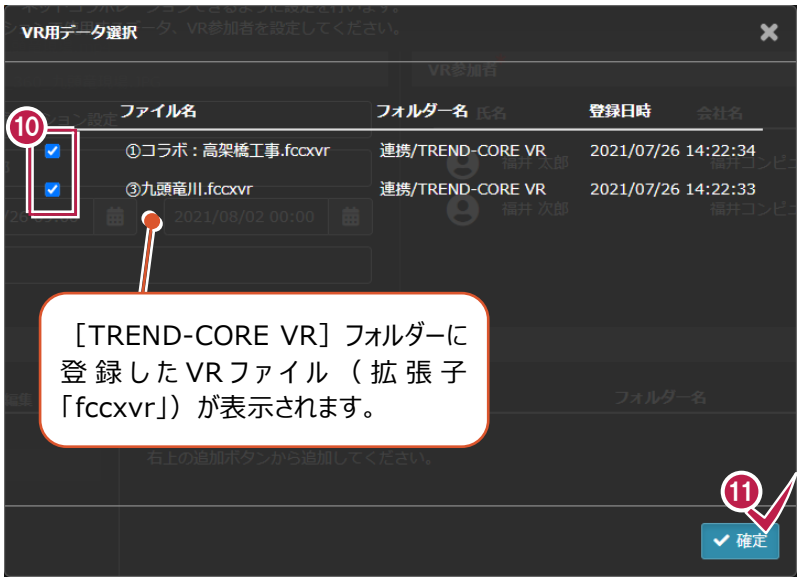
- 追加したVRリンクフォルダーはTREND-COREの「リンクフォルダ」としてコラボレーションします。
  「リンクフォルダ」はTREND-CORE VRで視点を変更せずにVRデータを切り替えることができる機能です。
  VRプレゼンデータのみ追加可能です。
- VRリンク機能を利用しないデータは［VRデータ］フォルダーに追加してください。
  VRプレゼンデータ、写真、動画ファイルを追加可能です。

❿ コラボレーションで使用するデータのチェックをオンにします。

［VRデータ］フォルダーを選択した場合は、［共有］フォルダーに登録した360°データ（全天球画像/動画）も追加できます。

※［ファイル情報］の［360°データ］が［はい］になっているデータが対象です。
対象ファイル形式は、jpg、jpeg、mp4です。



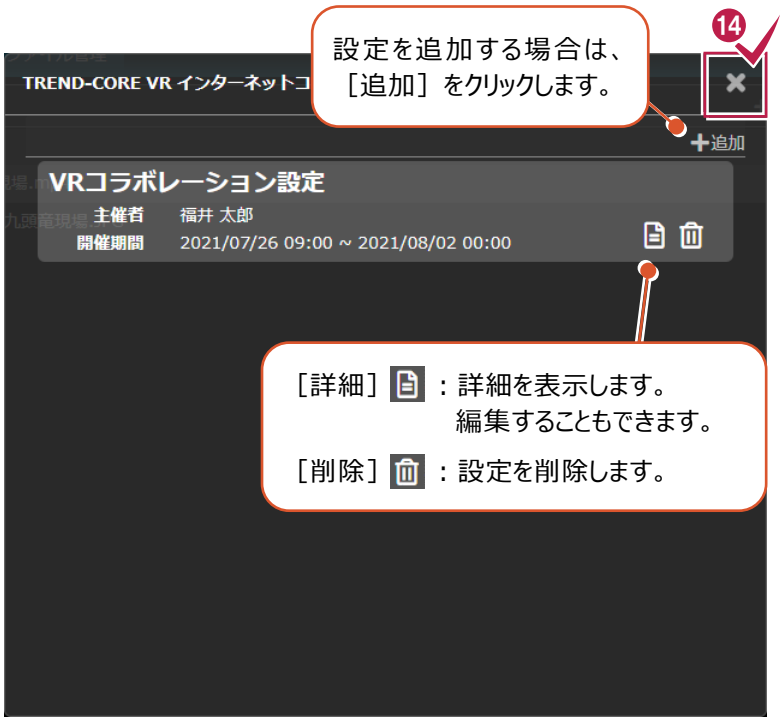


［TREND-CORE VR］フォルダーに登録したVRファイル（拡張子「fccxvr」）が表示されます。

⓫ ［確定］をクリックします。

⑫［OK］をクリックします。

⑬［一覧に戻る］をクリックします。

⑭ 設定完了後、［×］をクリックします。

※TREND-CORE VR とのコラボレーション操作については、「その他アプリとの連携」－「TREND-CORE VR との連携」の「TREND-CORE VR CIMPHONY Plus ご利用に関する情報」を参照してください。